

もりおか復興応援フリーマガジン

Stitch

[ステッチ]

TAKE
FREE

Vol.10
2013.12.06

発行 / 株式会社ラヂオもりおか

大切な「いま」を、
きちんと未来につなげよう



[特集]

つくる、伝える、残す。

3.11を経て今を生きる私たちが、
未来のためにできること。

インタビュー

山田周生 <フォトジャーナリスト>

7th Anniversary MOSS

12.06 (fri) ▶ 12.15 (sun)

www.moss-build.com

MOSS 創館祭

ステラモンテの 多国籍料理と自家醸造のクラフトビール、あさ開の地酒で楽しい夜を…!

忘新年会プラン

料理7品 2時間飲み放題込
お1人様 **3,500円~**
※ご利用人数4名様~ (前日までの予約)

★20名様以上 (4,000円コース以上) でご利用の場合、**無料送迎**いたします。
※1週前までの予約。盛岡市内近郊に限り

お問合せご予約はコチラ! ☎ **019-624-7206** 住所 盛岡市大慈寺町10-34 (あさ開敷地内)
営業時間: 11:30~15:00 / 17:30~22:00

岩手県産品の店

岩手の県産品の販路拡大を目指して50周年

岩手県産株式会社 特産品プラザらら・いわて

盛岡市菜園1-3-6 農林会館1F

☎ 10:00~18:30 休 毎月第2水曜日

Tel 019-626-8178 Fax 019-654-1843

車両稼働台数盛岡最大級!!
エコなハイブリッド車配備

急な飲み会でも安心!
中央タクシーの
運転代行サービス
運賃+1,000円で
ご利用できます

GPS配車でどこへでもいち早くまいります
ケータイ フリーダイヤル レッツゴー ハローハロー
からでも

0120-05-8686

岩手中央タクシー 本社 / 盛岡市開運橋通3-38

もりおか復興応援フリーマガジン

Stitch

vol.10 2013.12.06

02 大切な「いま」を、
きちんと未来につなげよう

[特集]

04 **つくる、伝える、残す。**
3.11を経て今を生きる私たちが、
未来のためにできること。

10 三陸うまいもん紀行
ラーメン編

12 沿岸地域の仕事のいま

14 インタビュー
山田周生 (フォトジャーナリスト)

18 もりおか復興推進 しえあハート村通信

22 Re:stitch ~読者のみなさんから~

23 プレゼント

発行日 / 2013年12月6日

発行・企画・編集 / 株式会社ラヂオもりおか

〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-1-21

TEL.019-621-7110 FAX.019-621-7153

デザイン / 冬部幸治 (創造集団 志庵)

印刷 / 山口北州印刷株式会社

Special Thanks / 取材、制作にご協力いただいた皆様

※取材、撮影、制作など本誌作成にご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

※掲載されている情報は平成25年11月22日現在のものです。発行後の情報変更につきましてはご容赦ください。

※このフリーマガジンは、盛岡市の復興推進広報事業によって発行されています。 ※無断転載禁止

未来は意外とすぐにやって来る。
大丈夫、大丈夫、と言い聞かせて前を向いた
あのときの「未来」はいま、3年目の冬。
これからも、今からでもいい
大切な「いま」を、きちんと未来につなげよう。

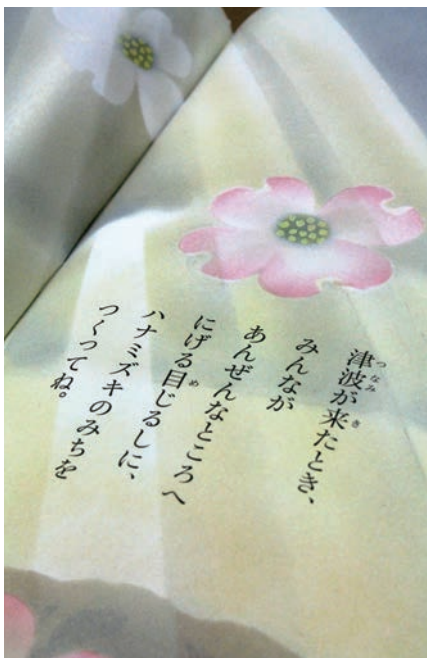
未来は、「いま」が作っている。
いま、くやしいこと
いま、かなしいこと
いま、うれしいこと
いま、たのしいこと
いま、頑張っていること
いま、伝えようとしていること
全然、ムダじゃないよ
全部、無関係じゃないよ
すべての「いま」が、未来につながる。
何ができるかを考えよう
伝えたいことは、声に出してみよう
なにかひとつ、カタチにしてみよう

大切な「いま」を、
きちんと未来につなげよう



つくる、伝える、残す。

3・11を経て今を生きる私たちが、
未来のためにできること。



絵をてがけた黒井さんは『ごんぎつね』『手ぶくろを買いに』など多数の作品を持つ絵本作家。被災地に自分に関われることはないか。何か手伝えることはないか、という黒井先生の思いを、野上先生がこの本と繋いでくださいました、と淺沼さん。



1 CASE

「二度と津波で悲しまないように」
絵本に託した未来への思い

淺沼ミキ子さん

(陸前高田「ハナミズキのみち」の会)

今も、泣けて仕方ないときがある

「山の方へ行ってるから」。指差して
そう伝えると、「わかったよ」とばかり
にっこり笑い、右手で敬礼をした。
いい笑顔だった、と今でも思う。

避難所に指定されていた市民会館
の前。翌月からの本採用を控えた市の
臨時職員として、避難誘導にあたるそ
の表情は、誇らしげだった。

あれが、最後に見た姿だった。「なぜ
あの時、一緒に車に乗せてこなかった
のだろう」「なぜ避難所だからと安心
してしまったのだろう」「なぜ、私は生
きているのだろう」。悔やみきれず、自
分を責める言葉ばかりが浮かんでく
る。どうしても会いたい。眠れない日
が続き、呼吸困難を繰り返した。

陸前高田市の淺沼ミキ子さんは、東
日本大震災で息子の健さん(当時25
歳)を亡くした。多くの人が避難した、
3階建ての市民会館は津波で水没。助
かったのは十数人だけだったという。

「今でも、泣けて仕方ないときがあ
るんです。今日もね、左目からはかり
涙が出るの」と、淺沼さんは言う。大
切な人を突然亡くした悲しみ、むなし
さ、そして、津波に対する恐怖や怒り
は、ずっと消えない。だから「もう誰
にも同じ悲しみを味わってほしくな
い」。その思いはきつと、天国にいる健
さんと同じだ。

思いを絵本に託したい

震災から半年以上が過ぎたとき、淺
沼さんは「自分の思いを絵本を書いて
残そう」と思い立った。大切な人を亡
くした悲しみやとまどい。そして、津
波への怒りを込め、夢中になって原稿
を書いた。

自費出版するつもりだったが、その
ころ開設準備をしていた市内の仮設図

書館『虹のライブラリー』のスタッフに、「オーブニングセレモニーに作家さんや出版社の人が来るから、相談してみたら?」と声をかけられた。

そうして紹介してもらったのが、児童図書編集者で作家の野上暁さん。しかし、浅沼さんの原稿を読んだ野上さんの反応は「このままでは絵本にできない」というものだった。

「悲しいね、で終わってしまったら意味が無い。子どもたちが読み終えた後、この物語にどう寄り添えるかが大事、つておっしゃいました。でも私は、こんなに悲しいんだよ、怖いんだよ、って伝えなかった」。

当時は「どうしてこの気持ちが伝わらないの?」と思っていたという浅沼さん。だけど、今はわかる。「伝えたい」気持ちを押し付けても、受け取る人に届かないということ。そして、文章を削り、推敲を重ねて完成した絵本は、文字は少なくとも思いのすべてがまつているということ。

2013年5月、およそ2年の歳月

津波が来たとき、
みんながあんぜんなところへ
にげる目じるしに、
ハナミズキのみちを
つくつてね。

町の人たちが もう二度と
津波でかなしむことが
ないように、
ぼくは木になったり
花になつて
みんなを
まもっていききたいんだ。

浅沼さんは健さんの思いを、絵本のなかの「ハナミズキのみち」に託した。「ハナミズキには『私の思いを受けてください』『返礼』という花言葉があるんです。健だけじゃない、津波で亡くなった人たち、そして生き残った私たちの思いをハナミズキの花に変えて、このまちをずっと見守ってほしいなあって」。

をかけ出版された絵本『ハナミズキのみち』は、子どもの頃の健さんの目線で描かれている。「大好きな町。大好きなけしき」で始まり、絵本作家・黒井健さんのやさしい絵とともに、ふるさとの風景や家族との思い出を語り…そして、震災の日を迎える。

あのとき…

そのたったひとりの文章と、見開きいっぱい描かれた、地震に襲われるまち。ページをめくると、まちを呑み込む津波、そして一面のがれき。文字のないモノトーンの世界が、言葉にならないほどの深い悲しみを代弁していた。

しかし次のページでは、白やピンクのハナミズキのなかで、健さんが語りかける。

もう泣かないで。

楽しかったことを思い出して

わらっていてね。

ぼくは、ここから見ているから。

後世に「みち」を伝えたい

本を出版してまもなく、浅沼さんは震災後に始めたボランティアの仲間たちと「陸前高田『ハナミズキのみち』の会」を立ち上げた。

高台へと続く、避難路を兼ねたシンボルロードに、ハナミズキの植樹を実現させることが会の主たる目的。しかし、シンボルロードの整備は復興に向けた市の土地区画整理事業のひとつで、着工されるのはまだ先の話。だから今は、市に植樹を検討してもらえようなるべく多くの賛同者を集めることを目標としている。

「震災で、本当にたくさんの方が無念な思いを残して亡くなってしまうました。生き残った私たちは、亡くなった人たちの思いを引き継ぎ、二度と同じ悲劇を起こさないよう後世に伝える使命があります」。

伝えなきゃ、残さなきゃと思ったから、私も今まで生きて来れたの、と話す浅沼さん。

「あの子ならきつとそう思っているだろうって。自然に出てきた言葉なんです」。浅沼さんは微笑んだ。あの日、市民会館の前で、避難誘導をしていた健さん。津波への怒りをぶつけるのではなく、みんなの命を守ろうとしたあの誇らしい姿を絵本の中で伝えたい、と気持ちが変わっていった。



シンボルロードが整備される予定だという場所に立つ浅沼ミキ子さん。シンボルロードには、車線のほか駐車帯、歩道をつくり、災害発生時には避難路として機能する予定。

土地区画整理事業はまだ計画の段階。シンボルロードに並ぶハナミズキの風景をすぐに見ることはできない。けれど、この絵本を読んだ子どもたちの心の中に現れる「ハナミズキのみち」は、二度と同じ悲しみを生まないための「みち」となって、きつと未来へ導いてくれる。

陸前高田 『ハナミズキのみち』の会

現在、シンボルロードに街路樹としてハナミズキを植樹する事についての賛同書を募集中。賛同書を希望する人は、下記アドレスへメールすると、様式のPDFを返信すること。

hanamizuki_rikuzentakata@yahoo.co.jp

フェイスブックページで情報を発信中

https://www.facebook.com/hanamizuki_kinomichinoHui



『ハナミズキのみち』(金の星社)
文/浅沼ミキ子
絵/黒井健

震災の記憶と教訓を 地域の「文化」として継承する

岩手大学三陸復興推進機構

震災直後から「岩手の復興と再生にオール岩大パワーを」をスローガンに掲げ、全学部の力を結集し復興推進に取り組み岩手大学。

2012年4月に設立された「岩手大学三陸復興推進機構」では、「教育支援」や「水産業復興推進」「ものづくり産業復興推進」など6部門が、被災地域に設置したサテライトやエクステンションセンターと連携し、現地の課題やニーズに沿ったサポートをおこなっている。

「地震や津波は自然現象の一部。そこに人間が関わり、被害を被ってはじめて『災害』になります。より大きなダメージを受けるのは、社会の脆弱な部分。つまり被害の状況をみることで、その地域の弱点や課題が明らかになります」。



11月22日に岩手大学で開催された第6回地域防災フォーラム「未来を築け。被災した子ども達が創る未来～災害文化の醸成・形成・伝播～」のようす。

そう話すのは、「地域防災研究部門」で「災害文化」の研究に取り組む教育学部の山崎友子教授。「災害文化」とは、災害を経て得た知恵や気づきが地域に根付き、文化として後世に伝わっていくこと。山崎教授は、宮古市田老地区を主なフィールドに、災害文化の醸成、継承、伝播に至るプロセスを研究している。

「『文化とは、危機に直面する技術である』という文化人類学者・山口昌男



研究代表として壇上に立つ山崎友子教授。

さんの言葉があるように、被災地では、防災への新たな教訓や思いが生まれている」と山崎教授。では、それらをどう「文化」として根付かせていくのか。

「災害文化は、その地域のなりわいにおける防災の工夫、教育、伝承、自然観などに見られ、生活に溶け込んでいます。例えば、避難場所としても機能する公園を高台に作るなど、「防災」を非常時のものとして切り離すのではなく、いつでも思い起こせる身近なところに取り入れる工夫があります」。

災害は、いつどこで起きてもおかしくない。被災地の経験は、私たちみんなに安全・安心なまちづくりに向けて何をなすべきかを教えてください、と山崎教授は語る。

未来に託す、記憶と記録。 震災遺構保存のカタチ

ガレキの撤去が進み、広大な草原のように見える浸水区域。復興まちづくり計画が動きはじめ、徐々に消えゆく津波のつめ痕。「教訓として後世に活かしてほしい」。

い」と保存を求める人がいる一方で、「思い出すのはつらい」と、解体を望む人もいる「震災遺構」。その保存・解体をめぐる、被災地は揺れている。

釜石市では、推定200人以上が犠牲になった「鵜住居地区防災センター」の解体が、12月2日から始まった。保存を求める声もあったが、「鵜住居地区防災センター」に関する被災者遺族の連絡会や「鵜住居地区復興まちづくり協議会」や「鵜住居地域会議」の要望を受けて解体を決定した。その一方で、業者に3D映像の保存を依頼。内部を詳細に記録した映像は、今後の防災教育に役立てていく予定だ。

津波の実情を伝え、防災を学ぶ場として大きな意義を持つ震災遺構。しかし保存・解体の是非について住民の意見が対立することもあるうえ、保存するとすると、土地建物の取得や維持管理費など莫大な費用がかかる。それゆえ保存を断念し解体してしまうケースも少なくない。

そんななか、復興庁は今年11月15日、震災遺構の保存に必要な初期費用を復興交付金で支援する方針を示した。「これ



3D映像保存のようす

まで市町村は、インフラ復旧や住宅の供給などに優先的に対処してきましたが、復興は新たなステージに移行してきており、一部では、震災遺構についての議論も進んでいます。そう話すのは、岩手復興局次長の安田泰二さん。これまでも遺構保存に向けた調査事業に対し復興交付金で支援してきたが、今回、震災遺構の保存について、各市町村1か所まで初期費用を対象とするなどの方針が公表された。

震災の記憶をどんなカタチで保存するか。それは、まちの復興をどうしていきたいのかにも大きく関わる。有形・無形に関わらず「後世に伝えたい」という思いが風化してしまわないような、震災遺構の効果的な活用が望まれる。



3D映像保存が完了し、12月2日から解体がはじまった鵜住居地区防災センター

三陸 うまいもん紀行

あかもくラーメン

578円

地元・山田町に愛される三陸味処三五十。山田町特産のあかもくはフコイダンやミネラルたっぷりで栄養満点。美肌効果もムール貝、帆立、あさり、三陸旬の海鮮を盛り合わせた具だくさんのラーメンに合わせるスープは、かつお、こんぶ、鶏がらを使ったあっさり塩味。あかもくをスープになじませるとツルツルとした食感で麺がすすむ。付け合せのわさびを混ぜ合わせると味の変化も楽しめる一杯。



三陸味処 三五十 【みごと】

●岩手県下閉伊郡山田町長崎1-2-9
☎0193-82-3500
営業11:00~15:00(L.O14:30)、17:00~23:00(L.O22:00)

店主／大杉繁雄さん 休不定休

栄養たっぷり！
三陸の味を楽しめる海鮮ラーメン



秋刀魚だしラーメン(正油・塩)

並650円・中700円・大800円

ロックなラーメン屋「黒船」の秋刀魚だしラーメンは、さんまの荒節をたっぷり使い南部どりの鶏ガラから取っただしを合わせた香り豊かなWスープが特徴。正油味と塩味から選べ、スープの深みが増す正油味が人気。岩手県産「ゆざちから」を使ったつるつるもちもち食感の自家製麺がこだわりのスープにしっかりと絡まる。「また食べたい」と思わせる至極の逸品。



大船渡秋刀魚だし 黒船

●岩手県大船渡市猪川町藤沢口39-1
☎0192-26-0144
営業11:00~15:00、17:00~20:00
休水曜日

店主／岩瀬龍三さん

食欲そそる香り
豊かなさんまと鶏ガラのWスープ



Facebookグループ「盛岡らめん同好会」協力のもと、三陸沿岸のこだわりラーメンを厳選！これから寒い冬を迎える岩手、あったか〜いラーメンで三陸の味を楽しみませんか？

角煮ラーメン

750円

中華一筋60年の同店三代目主人がこだわって生み出した角煮ラーメン。煮込んだ皮つき豚バラ肉は油通しして皮をバリバリにした後、紅南乳(発酵豆腐)をベースにしたタレでしっかり煮込んで肉のうまさをぎゅっと閉じ込めた。角煮は箸でほろほろと崩れるほどやわらかく脂身はとろとろ、油っぽくなくさっぱりと食べられる。スープとタレが混ざりあうと肉のうまみが溶け出して麺との相性も抜群。



中国料理 みつづ飯店

●岩手県陸前高田市高田町字中和野21-5
☎0192-55-3033
営業11:00~20:00(L.O)
休水曜日

店主／細谷昌司さん

こだわりの豚バラ角煮が絶品！
何度も食べたくなる味



さんまうめめめん

650円

「大船渡特産のさんまを味わえるラーメンを」と、お店一丸となって開発。大船渡で水揚げしたさんまを使い、骨まで食べられるほど10時間以上じっくり煮込んだ「さんまのあま煮」は、口の中でとろけるほど柔らかく魚のうまみたっぷり。とんこつしょうゆスープに自家製梅干しとレモンを混ぜ合わせるとさっぱりとした味わいになり、クセになる一杯。遠方からのリピーターも多い。



萬来食堂

●岩手県大船渡市大船渡町字宮ノ前9-2
☎0192-26-3763
営業10:00~18:30
休10日、20日、30日

店主／千葉常雄さん

うめ干しとさんまの
意外な組み合わせがクセになる一杯

●求人・求職バランスシート

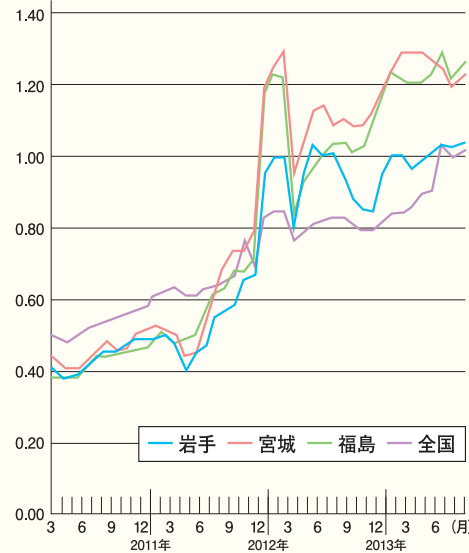
■ 2以上 ■ 1未満

2013年8月 有効求人倍率	岩手県	盛岡	大船渡	釜石	宮古	久慈
管理的職業	0.80	0.69	2.00	0.33	3.00	1.00
専門的・技術的職業	1.56	1.44	3.21	2.14	2.50	2.00
(うち医師、歯科医師、獣医師、薬剤師)	3.06	2.48	4.00	1.67	3.00	4.00
(うち保健師、助産師、看護師)	2.06	1.64	1.82	3.32	5.08	2.00
(その他の保険医療の職業)	1.49	1.94	0.13	1.60	0.40	0.50
事務的職業	0.27	0.29	0.44	0.36	0.32	0.21
販売の職業	1.36	1.10	3.00	1.72	1.56	1.07
サービスの職業	1.50	1.42	2.26	2.42	1.59	0.67
保安の職業	7.98	6.47	11.50	33.50	31.33	3.50
農林漁業の職業	1.49	1.88	0.89	1.25	1.73	1.32
生産工程の職業	0.77	0.79	1.95	1.10	1.35	0.85
輸送・機械運転の職業	1.72	2.17	2.88	1.29	1.39	1.48
建設・採掘の職業	2.70	3.25	3.16	3.20	1.76	1.88
運搬・清掃・包装等の職業	0.54	0.59	0.88	0.49	0.46	0.32
IT関連職業合計	0.55	0.83	0.62	0.41	0.47	0.10
福祉関連職業合計	1.48	1.35	1.38	2.33	1.68	1.07
(うち介護関係)	1.25	1.23	1.16	1.92	1.26	0.80
職業計	0.96	0.92	1.76	1.26	1.37	0.84

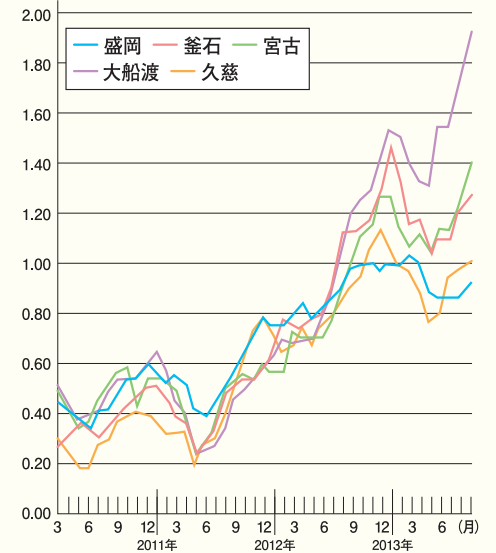
沿岸地域の仕事のいま

厚生労働省岩手労働局の調査によると、2013年8月現在の沿岸地域のハローワーク（大船渡、釜石、宮古、久慈）の求人倍率は、およそ1.00前後。2012年10月に沿岸4か所すべてが1.00を上回り、2013年7月に久慈が0.78まで下がったものの、現在はほぼ1.00となっています。

●全国の求人倍率の推移（季節調整値）



●岩手県の求人倍率の推移（季節調整値）



うだ。
 一方、求職者全体のおよそ3割を占め、すべての安定所で求職者数が求人を大きく上回るのが「事務的職業」。震災の前後、内陸沿岸を問わず人気の職種だが、求職と求人との間には大幅なギャップがある。「運搬・清掃・包装等の職業」は有効求人倍率こそ低いが、震災がけの撤去や建築材の運搬など、「運搬」の項目に限れば求人数は多い。また、福祉関連職業合計のなかでは、介護関係（福祉施設指導専門員、社会福祉の専門的職業、施設介護員や訪問介護員など）は、求人と求職数ともに安定している。
 以上、震災前の課題だった求人数の少なさは、震災後改善傾向にある。特に販売員やサービスの職種に関しては求人過多となった。しかし、IT関連、医療やさまざまな現場監督など、技術を要する仕事の求職者は少なく、事務職や一般的な清掃員などの仕事は求職者が過多となっている状況である。

沿岸全域でほぼ安定 震災依然と人気傾向変わらず

沿岸の求人・求職状況の特徴にはどんなものがあるだろうか。
 求職数が多い業種を見てみると、「専門的・技術的職業」は求人倍率1以上。保健師、助産師、看護師などの医療関連職業は求人数が大幅に高く、沿岸における医療従事者不足の現状が見てとれる。一方、栄養士、マツサージ師、整体師、はり師、きゅう師といった「その他の保険医療の職業」は、求人数が求職者数を上回っている。
 「販売の職業」は、倍率1を上回り、同様に「サービスの職業」も倍率が高く、久慈のみが0.67。対して「保安の職業」、「輸送・機械運転の職業」、「建設・採掘の職業」、はいずれも求人数のほうが多かった。特に、警備員や交通巡視員なども含む「保安の職業」の求人数は求職数の10倍から30倍。復興関連事業に伴い高くなっているよ

【参考・参照】 ●厚生労働省岩手労働局 ●厚生労働省岩手労働局ホームページ
http://iwate-roudoukyoku.jstite.mhlw.go.jp/roudoukyoku/gyomu-naiyou/antei/_106888.html (H25.10.26 アクセス ※各月参照)
<http://iwate-roudoukyoku.jstite.mhlw.go.jp/var/rev0/0108/0816/2013930105331.pdf> (H25.10.25 アクセス)
<http://iwate-roudoukyoku.jstite.mhlw.go.jp/var/rev0/0108/0960/201311692341.pdf> (H25.10.25 アクセス)

<http://iwate-roudoukyoku.jstite.mhlw.go.jp/var/rev0/0108/0957/201311693042.pdf> (H25.10.25 アクセス)
<http://iwate-roudoukyoku.jstite.mhlw.go.jp/var/rev0/0108/0954/20131169352.pdf> (H25.10.25 アクセス)
<http://iwate-roudoukyoku.jstite.mhlw.go.jp/var/rev0/0108/0945/201311694915.pdf> (H25.10.25 アクセス)
<http://iwate-roudoukyoku.jstite.mhlw.go.jp/var/rev0/0108/0937/201311610417.pdf> (H25.10.25 アクセス)



山田さんのバイオディーゼルカー。廃油をバイオディーゼル燃料に精製するためのオリジナル装置を搭載している。



全国から訪れるボランティアさんの手を借りて、少しずつ整備がすすむエコハウス。

2013年5月、満開の菜の花に囲まれ、菜の花を使ったマクロビ料理を食べる「菜の花青空レストラン」にて。後列一番右が山田さん。



山田周生

[フォトジャーナリスト]

自然と人間にやさしく、そして楽しい
「これからの生き方」を発信したい

天ぶらなどの廃油から精製した「バイオディーゼル燃料」による、車での地球一周を達成した、フォトジャーナリストの山田周生さん。岩手県内をバイオディーゼルカーで走行中に東日本大震災に遭遇。以来、岩手を拠点に「自然・再生エネルギー」をキーワードにしたさまざまな被災地支援を行っています。

Q バイオディーゼル燃料で車を走らせ、地球一周する、というプロジェクトを成し遂げた山田さん。そもそも、バイオディーゼル燃料に興味を持つきっかけはどんなことだったのでしょうか？

フォトジャーナリストとして、アドベンチャーレースだったり、はたまた先住民族の暮らしだったり、世界中いろんなところに取材に行きました。そんな生活を30数年間送っているなかで、アラスカやサハラ砂漠、アマゾンなどの環境や景色が急激に変化していることを実感したんです。「このままの暮らし方では、地球が本当にダメになる」と、自分の暮らし方を見つめ直すそうと考えました。

今環境に配慮した取り組みにはどんなものがあるんだろう、と燃料や住宅、暮らしなどいろんな分野について調べ、自分が本当にいいと思ったものを探してみようと思ったんです。そのひとつが、なたね油などの植物油から精製されるバイオディーゼル燃料でした。

Q その燃料で地球一周をしようと思いついたのは？

「啓蒙活動が目的ですか？」とよく聞かれるんですが、そうではありません。あくまでも、この燃料が将来的に使えるかのテストです。実は、バイオディーゼル燃料は世界各国で使われていて、使っていない国のほうが少ないくらい。ただ、私は使用済みの油を使おうと思っていましたので、その地域のレストランや食堂に行き、廃油を提供していただくなどしていました。どんな植物油でも使えるのか、長距離を走るうちになにか支障をきたさないかなどを検証したり、世界のバイオマスエネルギーの現状、地球環境の変化もこの目で確認するのが目的でした。

Q 2008年に一年にわたる地球一周から帰国。翌年から日本一周に挑戦していたところ東日本大震災が発生。ちょうどそのとき、岩手にいらつしやったそうですね。

花巻市の東和にいました。そのとき自分に何ができるか、と考えたら、まず車だと。僕のバイオディーゼルカーは一度廃油を満タンにすると3000kmぐらい走りますし、ガソリンじゃないのでいつでも燃料を供給できます。また同じ燃料で動く発電機も持っていたので、それで何か役立てればと。地震直後は東和でも避難している方がいましたので、地元の人と一緒には避難所を周りました。その後津波で沿岸が大変な状態になっていると知り、農家さんや地元の商店街のみなさんから食糧や生活用品などいろんな物資を提供してもらい、沿岸部に行きました。3月14日のことです。その後、岩手県沿岸部の避難所を探し周り現地の状況や必要なものをブログで発信するなどしました。活動資金や支援物資の協力もブログで呼

も役立てることができたら、と思っています。

Q その菜の花の油は商品化されているんですか？

はい。無農薬で育てた菜の花の種を、昔ながらの方法で精製した、無添加の菜種油です。ビンのラベルは被災地域のお母さんたちが貼り、その作業代が収入になります。この油を通して全国の皆さんとつながるように、という「結い」の思いを込めて「油いっこ」という名前をつけました。現在インターネットで販売しているんですが、売り上げの一部、被災状況によっては全額を、被災地に還元しています。

Q これからの活動として、考えていることはありますか？

大事なのは

「我慢する」「誰かの為にやっておあげる」よりも

「この地球の役に立てる」「ことにワクワクしたり、心から楽しむこと。」

びかけ、花巻の農家さんの納屋を借りて物資倉庫にし、被災地と花巻を行き来していました。以来岩手にずっといます。今は釜石市を拠点に、状況やニーズに合わせて進化しながら支援活動をしています。

Q 現在ではどんな活動をしているんですか？

今取り組んでいることのひとつは、津波の浸水により塩害などの被害を受けた農地や耕作放棄地に菜の花を植える「菜の花大地復興プロジェクト」です。菜の花には比較的塩分を吸収する働きがあり、そういう場所でも育つてくれるんです。菜花として食べることもできるし、種を絞れば油ができ、さらにそれはバイオディーゼル燃料にもなる。それに黄色い花をみていると癒されます。今年だけで2000人を超える人たちがボランティアとして来てくれ、地域の方々と一緒に汗を流しました。被災した人の雇用を生み出し、バイオディーゼル燃料による「防災に強く、かつ持続可能な暮らしのできるまちづくり」に

今、釜石市内にエコハウスをつくらうと取り組んでいます。地元のおじいちゃんや10年かけて作ったという手づくりの家をベースに、バイオディーゼル燃料による発電、ソーラーパネル、薪ストーブなどを自作して、エネルギーを自分たちでまかなえる家を作り、入れ替わりやってくるボランティアさんたちと少しずつつくりあげているところです。

Q なんだか楽しそう！

そう、大事なのは「我慢する」「誰かの為にやっておあげる」よりも「この地球の役に立てる」「ことにワクワクしたり、心から楽しむこと。太陽とともに働き、夜には仲間たちと語り合う。昔はそうだったであろう、自然のリズムで暮らす生き方には、すべてお金で解決できる便利さ

山田周生 [やまだ・しゅうせい]

フォトジャーナリスト。1983年から、パリ・ダカールラリーをはじめとする世界のアドベンチャーレースを追跡取材。旅をしながら自然との共生を考え、アメリカンインディアンなどの先住民族のホルボージェムも手がける。2007年～2008年、バイオディーゼル燃料による車での地球一周に挑戦し完走。帰国後日本一周に挑戦する最中、岩手県で東日本大震災に遭遇。バイオディーゼル燃料を駆使した支援活動に携わり、現在も岩手県を拠点としたさまざまな被災地支援を続けている。



とは全く違う幸福があります。震災はもちろん悲しい出来事だったけれど、地球に負担をかけてきたこれまでの暮らし方を見直す、またとないチャンスでもあると思っています。100年、1000年後を見据え、環境にやさしく、なにより自分たちが幸せで、楽しいなど思える暮らしを、このエコハウスから発信して行きたいと考えています。

※バイオディーゼル燃料／なたねやひまわりなどの植物油から精製されるバイオディーゼルエンジンの燃料のこと。山田さんはオリジナルの装置により、使用済みの食用油からバイオディーゼル燃料を精製し使用している。

サポーター、ボランティア募集中!

「菜の花大地復興プロジェクト」
(一般社団法人 United Green)
E-mail / nanohana@unitedgreen.jp
WEB / <http://nanohana.unitedgreen.jp>
(菜種油「油いっこ」の販売サイトもこちらです)

山田さんの活動はこちらでチェック

WEB / <http://biodieseladventure.com/>
E-mail / contact@biodieseladventure.com
Facebook / www.facebook.com/bioadshusei/
Twitter / @biodiesel_adven



「個別指導塾まつがく」が取り組む 学習サポート「学びの教室」

震災後、盛岡の学習塾が田野畑村の中学生へおこなっている
学習支援の取り組みをご紹介します

「先日の授業でも生徒から質問攻めにありました」少し嬉しそうに話すのは「個別指導塾まつがく」の菊地亮先生。菊地先生は田野畑村の中学生の「学習支援」のため毎週土曜日、盛岡から足を運ぶ。

2011年11月から始まった「まつがく」の学習支援の取り組みは同村出身のスタッフと当時の教育長が知り合いという縁で始まった。元々、他の地域に比べ学習塾が遠いなど学習環境のハードはあったがそこに襲った大震災の被害。児童、生徒の多くが仮設住宅での生活となり以前よりも学習環境の悪化が懸念されたという。そこで「まつがく」ではボランティアとして「出張学習塾」を開いた。震災による環境の変化が影響しているのか授業当初は学習速度の遅さを感じたという。しかし生徒は遅れを取り戻そうと必死で積極的に勉強に取り組んだという。結果的にその年の3月には全員志望校合



取材協力／まつがく岩手事務局
盛岡市肴町3-18 ラオエムコート1F
TEL.019-606-6633
「個別指導塾まつがく」は北海道から九州まで教室を展開。岩手県内では盛岡を中心に12教室を運営。

格を果たした。生徒達は「塾がどんなものか知る事ができた」「勉強のコツがわかった」と話す。「生徒が最後の授業で全員起立をして『ありがとうございました』と言ってくれた時は泣いちゃいました」と菊地先生は話す。

今年度からは交通費等の経費は村の補助がいたため完全な無償ボランティアでは無くなったがそれでも教材づくりなどは「手弁当」だ。「子ども達のやる気に応えてあげたいですから。この学習支援が少しでも復興のお役に立てばうれしいですね」と菊地先生は話す。

しえあハート村 通信

復興推進

デジコンシェアオフィスMORIOKA

デジタルコンテンツ制作を盛り上げようと
しえあハート村内に開設されたデジコンシェア
オフィスMORIOKA。岩手・盛岡の若
手クリエイターを応援します。



ワーキングスペースでは、20人ほどの利用が可能。初心者や子どもでもできるオリジナルゲームの制作を通じて、プログラミング体験も行う。

東圏の企業がサテライトオフィスとして入居するなど、岩手のデジタルコンテンツを広める拠点として動き出しました。入居者間での協業化推進や、市内企業とのマッチングを行うことで新たな事業と雇用の創出に取り組む、復興支援や地域活性化にも貢献します。事業者だけでなく、個人で活動するクリエイターや

「復興推進デジコンシェアオフィスMORIOKA」は、盛岡市本宮の「しえあハート村」内に盛岡のデジタルコンテンツ産業振興のため、2013年夏に開設されました。映画、アニメ、ゲーム、アプリなどさまざまなデジタルコンテンツに携わるクリエイターや事業者がオフイスを無償提供することで、スキル向上や人材育成、事業推進を図ることを目的としています。



居心地のいいクリエイティブ空間を提供してくれるデジコンシェアオフィスMORIOKAのスタッフ

学生向けにワーキングスペースも用意。無料で利用できる制作スペースとWi-Fi環境を提供します。

利用条件は「デジタルコンテンツを制作すること」だけ。「デジタルコンテンツ制作に興味はあるんだけど……」といった初心者や子ども向けのプログラミング体験も行い、次世代の育成にも取り組んでいます。スタッフの天沼倫太郎さんは「何かやってみたいという人のために場所と手段、方法を整えています。興味がある人は一度来てみてください」と呼び掛けます。

もりおか復興推進 しえあハート村

しえあハート村とは？

復興支援学生寮や、ボランティアが利用できる宿泊施設「ボラ番」のほか、復興支援活動団体の活動拠点、デジタルコンテンツ育成の場として利用できる共同オフィスなどが集まる「しえあハート村」。復興をキーワードに、さまざまな立場の人が交流し、想いをつなぐ場所です。

- 住所／盛岡市本宮5-10
- 電話／学生寮センターハウス 019-601-5043
ボラ番管理棟 019-613-8880
- 受付時間／9:00～18:00(ボラ番)、11:00～18:00(マルシェ)
- 定休日／ボラ番：月曜(年末年始)、マルシェ：月曜、火曜(年末年始)

復興推進 デジコンシェアオフィス MORIOKA

- 住所／盛岡市本宮5-10-8 (しえあハート村108号棟)
- 電話／019-601-5715
- 利用時間／9:00～18:00
- 定休日／土日祝(事前申請があれば利用可能)
- フェイスブックページ



<https://www.facebook.com/digiconshareofficecmorioka/>

らあめん サンド

鶏そば〜生醤油の香り〜 680円



素材の旨味を最大限に引き出したスープが人気。イチオシの「鶏そば」は、鶏だしに店主厳選の生醤油を合わせた一品。上品でいて、舌にしっかりと印象が残る力強さも感じる。県産小麦「ねばりごし」を使用した自家製細ストレート麺は、ツルツルとしていて稲庭うどんを彷彿させる。チャーシューを真空調理で仕上げるなど、細部までこだわりが詰まっている。

らあめん サンド

- 盛岡市西青山2-26-20
- ☎11:00~15:00、17:00~21:00
- 📅水曜、第3火曜
- 🍴2台
- 他メニュー／純煮干そば 680円



一風亭 ●いっふうてい

とろみ担々麺 760円



一風亭の代表メニューといえば、白ゴマ、ナッツ、干しエビ、自家製ラー油など約20種の食材を合わせたオリジナルの「担々麺」。程よい辛さと一緒に広がる独特のコクがクセになる。これからの季節は、スープにとろみをつけたアツアツの「とろみ担々麺」がオススメ。大ぶりのエビが入り食べ応えもある。矢幅駅入口交差点近くにオープンした二号店も好評営業中!

一風亭

- 盛岡市高松4-1-36
- ☎019-662-3444
- 📅11:00~24:00
- 📅第1、3水曜 P8台
- 他メニュー／担々麺 700円、黒酢野菜あんかけ 700円



人力俵 ●じんりきしゃ

背脂煮干しそば味玉入り 750円



化学調味料不使用と自家製麺を貫くラーメン店。看板メニューの「背脂煮干しそば」は、強烈な煮干しの風味と背脂のまろやかさ、丸大豆醤油のコクがひとつになり口の中へ。自家製中太麺との相性も抜群だ。替玉のシステムがあり、両方合わせて380グラムとお腹いっぱい味わえるのも嬉しい。秋より新作「ど辛! マーボー味噌ラーメン」が登場し、早くも人気。

人力俵

- 盛岡市月が丘1-28-3
- ☎11:00~15:00、17:00~21:00
- 📅月曜 P2台
- 他メニュー／ど辛! マーボー味噌ラーメン(中辛、大辛) 780円、濃厚二ボ味噌ラーメン 750円



ミニ特集

盛岡近郊

ラーメン情報

P11~P12掲載の「三陸うまいもん紀行 ラーメン編」に続いてこちらは盛岡市内のラーメンをご紹介します。ステッチ編集部担当が独断と好みで決めた「おいしい5店」。本誌片手にぜひ食べ歩いてください。

初代 ●しょだい

ねぎらーめん 700円



スープに使用する材料は、トンコツ、鶏ガラ、煮干といったってシンプル。しかし、どれかが突出することなくバランスを極めることで、2倍にも3倍にも旨味を感じるスープに仕上がっている。オーソドックスな「らーめん」も良いが、「ねぎらーめん」もリピーターの多い一杯。辛味がスープを壊さぬよう、丸みのある辛さの「朝鮮唐辛子」を使用。程よい辛さがスープに加わり食欲を誘う。

初代

- 盛岡市盛岡駅西通1-5-11
- ☎019-623-1886
- 📅11:30~15:00、17:30~20:00
- 📅月曜
- 🍴7台
- 他メニュー／らーめん 600円



藤嶋家玉 ●ふじしまやぎよく

鯛ラーメン 750円



定番ラーメンのブラッシュアップから新作ラーメンの開発まで、日々研究を続けるラーメン店。最新ラーメンは、盛岡では初となる「鯛」を使ったラーメン。無添加で旨味の強い「高麗郷の丸大豆醤油」と合わせることで、鯛の繊細な風味がグッと引き立つ。その他、昔ながらの中華そばもオススメ。夜にはおでんを肴に純米酒を楽しむなど、居酒屋としても利用できる。

藤嶋家玉

- 盛岡市内丸4-1-23
- ☎11:45~14:00、18:30~23:00
- 📅休なし
- 🍴なし
- 他メニュー／中華そば 500円



1 三陸和グルミ まめぶの素3点セット

あまちゃんでお馴染みまめぶ汁を本場の味で作ろう!風味のある三陸の和グルミと鹿児島県喜界島の純黒糖、郷土料理まめぶ汁のレシピをセットで3名様に。



3名様

提供/SAVEIWATE

3 まごころねこぴんち

仮設住宅から生まれた手仕事品。支援への感謝の気持ちがかもった猫型クリップを3名様に。問合せ(0198・62・1001)※色は編集部にお任せください。



3名様

提供/遠野まごころネット

5 ハナミズキのみち

震災を後世に伝えようとする、母の想いが詰まった一冊。特集で紹介した「ハナミズキのみち」の絵本を1名様に。



1名様

提供/Stitch編集部

読者プレゼント

復興応援をしているお店や企業や団体の、おいしい逸品からオリジナルグッズまで。みなさまへのプレゼントとしていただきました!ご意見ご感想をご記入の上、ぜひご応募ください!!

2 陸前高田市 上長部産有機 なたね油 [180g]

津波被害をうけた土地で、地元の方が育て作り上げた有機なたね油180gを3名様に。問合せ(0198・62・1001)



3名様

提供/陸前高田まごころの郷おさべ協議会

4 ラベンダースティック& サシェセット

岩手県大槌町で、全国からのボランティアと地元の方が育て作ったラベンダーセットを3名様に。問合せ(0198・62・1001)※お色は編集部にお任せ下さい。



3名様

提供/遠野まごころネット

6 山華の雫

釜石・大仁田山の鍾乳洞より湧き出る天然水。各種ミネラルをバランスよく含み、マイルドでさわやか。炊飯、煮物にもおすすめ。500mlペットボトル12本を5名様に。



5名様

提供/八幡総業

応募方法

■応募方法/必要事項(希望商品、郵便番号・住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、本誌入手場所、ご意見・ご感想)を記入の上、はがき、もしくはメールでご応募ください。

■宛先/〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-1-21 ラヂオもりおか内
「Stitch」編集部 プレゼント係

■アドレス/ stitch@morioka-fukkou.com

■応募締切/平成26年1月25日必着

Stitch 設置場所

【岩手県内・盛岡】MOSS/クロステラス盛岡/盛岡南SCサンサ/ななく/おでっ/アイーナ/盛岡バスセンター/IGRいわて銀河鉄道/もりおか歴史文化館/岩手県立図書館/盛岡市立図書館/ジョブカフェいわてなど街中各店/岩手県内道の駅/三陸沿岸各店 【岩手県外】いわて銀河プラザ(東京)/もりおか復興ステーション(東京)/Cafe Hi famiglia(東京)/さくらWORKS<関内>(横浜)/喫茶としび(東京)/Rumble and Jungle(北海道)/風の駅(京都)/OMAR BOOKS(沖縄) 他

Re:Stitch

～読者のみなさんから～

Stitch(ステッチ)に寄せられた声の一部をご紹介します。みなさんのご意見を参考に、よりよい誌面づくりに取り組んでいきます。これからもご意見・ご感想よろしく願います。

音楽フェスの内容を中心に興味深く読ませて頂きました。大槌のいまを読んでショックを受けました。人口がこんなにも減っているんですね。ガレキも高く積まれたままだったり、その下の市街地の様子も復興したとは言えないなあと思いました。震災前に比べていい街になってほしいと思うだけではなく前に進みませんが、なんとか良くなってほしいです。

●30代 女性/会社員(盛岡市)

いつも読ませていただいています。盛岡に居ると復興の様子がなかなか伝わって来ないことが心苦しいと思っていますが、Stitchを読むことでこちらも元気をもらっています。何か小さなことでも復興支援につながる事が出来ればと思っています。これからも伝え続けてください。

●30代 女性/主婦(盛岡市)

私は釜石出身です。Stitchは前に岩手に帰った時に手に入れました。去年のいしがきフェスの時だったと思います。親戚はいまだに仮設で暮らしています。あれから二年半。こっちで生活していると、地元のことを忘れてしまいがちで、なのでたまに銀河プラザに行きます。今日、たまたまStitchが置いてあるのが目に付き、持って帰ってきました。山田せんべいロール、三鉄クレープも美味しそうですね。今度帰ったら食べてみます。

●30代 女性/会社員(千葉県)

初めてStitchを読みました。うまいもん紀行のスイーツはどれも美味しそうですね。しえあハート村の存在も今回初めて知りました。本宮の方は何回もやっているのに、こんな所があるなんて知りませんでした。娘が神奈川にいますので、友達やバイト先にStitchを配布できるかもしれません。たくさんの人に読んでもらいたいですね。

●50代 女性/主婦(盛岡市)

以前(震災前)お世話になった宿泊施設の営業確認のリストを見てホッとしております。少しずつでも元の三陸に戻って欲しいと思います。

●50代 女性/会社員(盛岡市)

友人から「Stitch」頂きました。震災からの復興を目指す人達の活動・思いがシンプルにまとめられていて、読み進んでいきました。テレビや新聞じゃ伝えられていない復興の状況を、これからも伝えていってください。

●男性/会社員(秋田市)

大槌のページの「誰か」ではなく「自分たちが」関わる町づくりという言葉にハッとしました。夏に娘がしえあハート村でダンスを発表してきました。私たちなりに応援できること、やれることを考えて、子どもたちにも伝えていければと思います。

●30代 女性/主婦(盛岡市)

全国にStitchを広めようプロジェクト!

Stitchの配布にボランティアで協力してくれるサポーター(個人、企業・団体)を随時募集しています。Stitchを全国に広めることで、少しでも震災の風化を防ぎたい!みなさんのご協力、お待ちしております。(年4回発行/6月、9月、12月、3月)。

【A Stitch配布サポーター【一口10部から】】ご近所やお友達、グループなどにStitchを配布していただける個人。

【B Stitchサポーターショップ・団体【一口30部から】】Stitchを設置していただけるお店、企業、団体。

※詳細は、HPまたはFacebookページ(https://www.facebook.com/moriokastitch)をご確認ください。

【募集方法】メール・はがきに①氏名(Bの場合は企業・団体と代表者名)②住所(郵便番号も)③電話番号④メールアドレス⑤希望回数⑥(Bの場合)設置予定の場所と方法⑦ご意見・ご感想を記入の上、ラヂオもりおか内「Stitch編集部 サポーター係」宛てに応募。

【応募先・問い合わせ】stitch-supporter@morioka-fukkou.com ※郵送先住所は、左側のプレゼントページを参照